

学校案内 2026

Aomori prefectural
SANBONGI
High School
Attached
Junior High School



青森県立三本木高等学校・附属中学校



青森県立三本木高等学校は、大正15年に設立された三本木町立三本木実科高等女学校を前身とし、創立以来100年の歴史を刻む県内屈指の伝統校であり、同時に、県内でも有数の進学校として、これまで2万3千名を超える有為な人材を輩出してきました。また、平成19年には、同敷地内に青森県内初の県立附属中学校が開校し、今年度20周年を迎えます。



本校では、県内唯一の併設型中高一貫校の特長を生かし、理数教育やグローバル教育に主眼を置く6年先を見据えたユニークな教育活動が展開されています。また、課外活動も盛んに行われており、生徒たちは、部活動やボランティア活動等を通して、心身を鍛え、社会性を大いに育てています。

これからも、先達が築いてきた伝統を重んじつつ、目まぐるしく変化する社会に順応するしなやかさも兼ね備えた独自性のある学校を目指し、新たな取組にも積極的に挑戦していきたいと思えます。

校長 小倉 民生

校 是
規律ある進学校
文武両道

校 訓
学業の練磨
人格の陶冶
体力の養成

Topic 1

よき志 継がでやは
～百年分の志が未来を拓く～

青森県立三本木高等学校は創立100周年
附属中学校は開校20周年を迎えました



令和8年度から制服が新しくなりました。

教育目標

真理と学問を尊重し、心身ともに健康で、国際社会の進展に寄与すべき、積極有為な人材を育成する。

本目標を達成するため、能力と個性に応じた教育活動を通して、次の諸項の実現に力点を置く。

知性の深化 徳性の涵養 個性の確立
自律心の養成 心身の鍛練

三本木高等学校グランドデザイン

〈全日制の課程 普通科〉

スクール・ミッション

本校の求められる役割、目指す学校像

併設型中高一貫校として、様々な夢や志を持った仲間との学び合いや異年齢交流を通して、生徒一人一人の個性を伸ばすとともに、質の高い課題解決型の学習を推進し、教科等横断的な視点を育み、豊かな心を持った、グローバル社会の発展を担う人材を育成します。

スクール・ポリシー

一貫性を持って教育活動を進めるための具体的な3つの方針

グラデュエーション・ポリシー

育成を目指す資質・能力に関する方針

真理と学問を尊重し、心身の健康の保持増進を図り、国際社会の進展に寄与すべき積極有為な人材を育成します。本目標を達成するため、能力と個性に応じた教育活動を通して、次の諸項の実現に力点を置きます。

知性の深化 徳性の涵養 個性の確立 自律心の養成 心身の鍛練

カリキュラム・ポリシー

教育課程の編成及び実施に関する方針

次のような教育活動を実施します。

- 普通科：普通コース
1年時は共通科目を履修し、基礎学力の充実を図ります。2年・3年時は適性、進路に応じて文系・理系の2類型に分けて学習を行います。
- 普通科：GSコース
主体的・協働的な探究活動及び表現活動を通して、文系・理系ともに深く学び、生徒の多様かつ高い進路希望を達成するための実力養成を目的とした学習活動を展開します。

アドミッション・ポリシー

入学者の受け入れに関する方針

次のような生徒を求めています。

- 大学進学等、進路に対して確かな目的意識を持ち、努力を続けることができる生徒
- 旺盛な学習意欲と探究心を持ち、学力の向上を目指す生徒
- 学校行事、生徒会活動、部活動、ボランティア活動等に積極的に参加し、入学後も継続して積極的に取り組む生徒

沿革

大正15年5月1日 三本木町立三本木実科高等女学校 開校式典挙行



旧校舎

昭和11年2月15日 青森県立三本木高等女学校として県移管



昭和10年代 遠足

昭和23年5月1日 定時制課程併置



男女共学はじまる

昭和24年4月1日 青森県立三本木高等学校と改称
男女共学を実施

昭和26年6月30日 新校歌制定
(作詞：佐藤春夫、作曲：大中寅二)



校舎全景

昭和47年10月2日 火災により校舎焼失

昭和47年10月6日 現在地の校舎に移転



昭和50年代 なぎなたの授業

昭和49年1月22日 校舎落成式典挙行

昭和62年2月21日 定時制閉校式典挙行

平成19年4月1日 青森県立三本木高等学校附属中学校開校

平成22年4月7日 文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定(～平成27年度)



昭和60年 登校風景

令和8年11月7日 創立100周年記念式典挙行



Topic 2

三高の学び



普通コース

生徒会議長 3年 橘 音色 (附属中出身)

普通コースには、「文武両道」を体現している生徒が多くいます。それは、普通コースのカリキュラムが一人ひとりに寄り添い、自分のペースで学びを深められる環境だからです。私自身、3年生の今は受験勉強に重点をおいていますが、生徒会執行部として活動しながら、バレーボール部や箏曲部などの部活動にもチャレンジしてきました。

普通コースでは生徒それぞれが個性豊かに、のびのびと興味のあることや挑戦したいことを追求しています。勉強を頑張るのももちろんですが、それだけでなく、その先にある自分の可能性にも目を向けることができる、それが普通コースの良さだと思います。



コース編成

1年

普通コース
4クラス

GSコース
(グローバルサイエンスコース)
2クラス

2年 3年

文 系

理 系

文系科目選択

理系科目選択

コース選択について

入学選抜はコースごとの募集ではありません。普通科として一括で募集します。合格発表後、入学予定者説明会でGS(グローバルサイエンス)コースの希望調査を実施します。

希望者(附属中学校出身の希望者を含む)がGSコースの定員2クラス80人(目安)を超えた場合は、学力検査の点数等を参考に選抜します。

なお、普通コースとGSコースでは教育課程が異なるため、途中で変更することはできません。自分が高校でやりたいことをしっかりと考えて選ぶことが大切です。

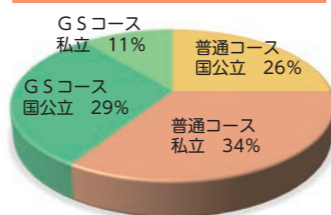


普通コースでの学び

「普通コース」は「GSコース」に比べ、学習の進度がそれほど速くないため、じっくりと学習に取り組む生徒に向いています。英語・数学・国語・地歴公民(社会)・理科の5教科を中心に、大学入試に必要な科目を基礎から応用までしっかりと学び、希望する大学に入学できる力をつけます。

令和7年度の三本木高校の国公立大学進学者数は学年全体で95人ですが、そのうち普通コースが45人で約47%を占めています。普通コース1クラスあたり平均11人ほどが国公立大学へ進学したということになります。また、下のグラフは4年制大学へのコース別進学内訳ですが、普通コースは私立への進学も含めると、全体の約60%、公立短大へも2人が進学しており、83.7%という本校の大学進学率を支えています。

令和7年度 4年制大学進学内訳



普通コース・国公立大学の進学先

| | |
|-----------|--------------|
| 北海道教育大 6人 | 埼玉大 2人 |
| 弘前大 6人 | 名寄市立大 1人 |
| 岩手大 3人 | 公立はこだて未来大 1人 |
| 山形大 3人 | 青森公立大 4人 |
| 東北大 1人 | 青森保健大 6人 |
| 秋田大 2人 | 岩手県立大 1人 |
| 福島大 2人 | 宮城大 1人 |
| 新潟大 1人 | 高崎経済大 1人 |
| 信州大 1人 | 横浜市立大 2人 |
| 宇都宮大 1人 | |

GSコースでの学び

平成27年度までの文部科学省指定SSH(スーパーサイエンスハイスクール)から継承された外部機関(大学・企業等)との連携などを活用し、これからの変化の激しいグローバル社会の中で、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造するために、主体的に活躍できる人材の育成を図ることを目的にGSコースを設けています。難関大学への進学にも対応した「探求力」「表現力」「主体性・協働性」を身に付けられるよう、オリジナルのカリキュラムに基づいた活動を行っています。



つくばエネルギー研究所体験研修

探究活動で未来を切り開く実践力!

GSコース1年生 探究する基礎力を身に付ける各種セミナー
大学・企業の一流講師が直接指導する講座
大学連携セミナー(東北大学・岩手大学など) 国際理解セミナー など

GSコース2年生 探究活動の実践と成果の発表
興味を持った課題を徹底的に探究し、大学などでプレゼンテーション
青森県高等学校理数系課題研究発表会での発表
大学入試の活動実績提出などに対応できる具体的な活動



東京大学出張講義



総合探究のフィールドワーク



青森県理数系課題研究発表会



国際理解セミナー

英語教育の充実

東京学芸大学名誉教授 金谷憲先生監修
三本木メソッド Sambongi Method



英語コミュニケーションの授業において、教科書本文のShortened Version(縮約版)を使い、4技能「聞く(Listening)」「読む(Reading)」「話す(Speaking)」「書く(Writing)」を統合した活動により、英語のより良い定着を図り、受験にも対応した高い英語能力の養成を行っています。

英検二次対策指導も充実しており、昨年度校内実施の英検について、一次を通過した生徒の二次合格率は準2級94%、2級は100%でした。一般的に二次試験合格率80%とされるところ、本校では高い比率で合格しています。また、準1級、1級合格者もあり、生徒も積極的に取り組んでいます。

GSコース

生徒会長 3年 渡邊 沙文 (三本木中出身)

高校生活はあっという間に進んでいきます。その中で、三本木高校のGSコースの探究活動はより密度の濃い時間を過ごすことができます。地域の方と多くのつながりを持つ先生方や仲間たちと協力して自分の興味のあるテーマについて探究していきます。学校外のプログラムを先生方がおすすめしてくれることもあり、より実践的に探究していく方法を学べます。

まだ将来何をやりたいかが明確に決まっていなくても、この探究や経験をきっかけに将来の目標が決まることもあります。実際、私自身も将来の目標をより明確にすることができました。

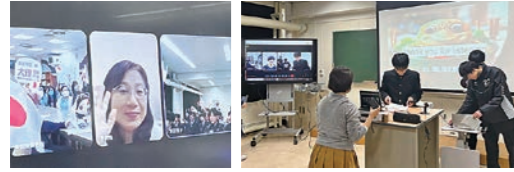
GSコースは高い進路目標を持っている人が多く、互いに刺激を受けながら勉学に励むことができます。高校生活をより充実した実りあるものにするために、GSコースは最適です。



GSコースでの学び

世界で活躍できる力を身に付ける！ 台湾 台北市立大理高級中学との国際交流

青森県教育委員会と台北市政府教育局による「青森と台湾の高校生による共同学習促進プログラムにより、活きた国際交流を行っています。2026年1月12日には、台湾の大理高級中学校と教育提携協定(MOU)を締結しました。



オンラインでの地域研究

- 英語を使いオンラインでの協働による地域研究 (2025年度は年3回実施)
- 台湾からの学校訪問の受け入れ (不定期、前回は2026年5月に来校)
- 台湾での学校訪問を含む海外研修 (毎年実施、前回は2026年1月に訪問)
- 国際交流報告会でのプレゼンテーション



MOU締結



大理高級中学の生徒と交流



台北市立大理高級中学



台北の観光



大理高級中学の生徒が来校

なぎなた部の演舞や吹奏楽部の演奏、茶道部のお点前でおもてなし



探究を深め、夢を叶える

トビタテ!留学JAPANで世界へ

文部科学省と日本学生支援機構の留学支援、トビタテ!留学JAPAN「新・日本代表プログラム」第11期に本校から2名が選ばれ、それぞれ韓国、イギリスとタンザニアへ留学します。令和6年度にも、ハンドボールのユースクラブ運営や指導法を知るために、前山颯太郎さん(附属中出身)がデンマークに留学しています。今回選ばれた3年小笠原史織さん(十和田中出身)と2年竹内莞那さん(七戸中出身)にお話を聞きました。



Q. とびたて留学 JAPAN に応募したきっかけは何ですか?

【小笠原】 1年生の時に、「トビタテ!留学JAPAN」に参加した前山君の活動報告会の発表を聞いて初めて知りました。もともと留学には興味がありましたが、自分で計画して、自分の力で留学したかったので応募しました。私は韓国で、手話について探究したいと考えています。韓国では手話が公用語となっているので、メディアでは手話がどのように組み込まれているかを調べたいです。

【竹内】 私は学校からの案内で知りました。「トビタテ!留学JAPAN」は留学計画を自分で考えて作ることができるので、ほかと違い、自分の関心のある分野の探究活動に集中できるのが魅力です。私はイギリスとタンザニアに行きます。イギリスでは熱帯病に関する研究の最先端の大学で、病気に対してどうアプローチが必要かを学び、タンザニアでは実際はどうなのか、現地のニーズと先進国のアプローチがマッチしているか、現地で見たいと思います。

Q. 三本木高校で勉強してよかったと感じることはありますか?

【小笠原】 私は総合的な探究の時間に手話について調べ、そこで課

題を知り、それが今回につながっています。

私は普通コースですが、GSコースでなくても様々な校外活動に参加できます。三高に来ていなければ、留学も考えなかったと思います。また、同じようなことに興味を持つ仲間も多いので、挑戦しやすい雰囲気だと感じています。

【竹内】 私はGSコースですが、台湾研修や科学の甲子園など、チャンスがたくさんあります。課題研究発表など探究活動も多くて、自分の関心事を深く掘り下げられます。私は将来に向けて探究を深めたいと考えていましたが、三高のカリキュラムでなければ実現しなかったと思います。

Q. これからの自分の夢と後輩たちに一言お願いします。

【小笠原】 私は韓国で手話とメディアについて探究し、将来はアナウンサーになって、みんなに平等に情報を届ける、情報のバリアフリー化を進めたいです。今の自分と1年後の自分は違います。自分の思い描く将来の選択肢を広げるために、後輩の皆さんには、勇気を持って挑戦してくださいと言いたいです。

【竹内】 将来は医師を目指しています。国境なき医師団などに興味を持っているので、自分も国際的な問題に携わり、いつかそれを解決するコミュニティーで頑張っていけたらと思います。私は三高でチャンスを掴みました。将来に向けて行動したいと思っているならば、チャンスを逃さないよう頑張ってください。

教育課程

※令和8年度に入学した生徒の学習内容の予定です。◎は学校設定科目を表しています。

- 附属中学校と他の中学校の大きな違いは、授業時間数です。1年生では社会と理科、2年生では社会と数学、3年生では国語と外国語が標準時間数より多くなっています。さらに、3年生では数学と外国語で高等学校の内容を扱う先取り学習を行っています。また、中学校と高校の連携で、高校の先生が中学校の授業担当になる教科もあります。
- 高等学校では1年生から「普通コース」または「GSコース(グローバルサイエンスコース)」を選択します。
- GSコースの数学と英語は、附属中学校の先取り学習に対応した「速修」と高校から入学した生徒に対応した「標準」に分かれて学習します。
- 「普通コース」「GSコース」とも、2年生から文系・理系に分かれ、一人一人の進路希望に応じた学習を行います。

附属中学校

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
|----|----|----|----|----|----|----|------|-------|-----|----|------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1年 | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 音楽 | 美術 | 保健体育 | 技術・家庭 | 外国語 | 道徳 | 学級活動 | 総合学習 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年 | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 音楽 | 美術 | 保健体育 | 技術・家庭 | 外国語 | 道徳 | 学級活動 | 総合学習 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年 | 国語 | 社会 | 数学 | 理科 | 音楽 | 美術 | 保健体育 | 技術・家庭 | 外国語 | 道徳 | 学級活動 | 総合学習 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

高等学校 普通コース

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 |
|----|-------|------|-------------------------|-------------------------|----------------|----------|---------------|----------|-------|----------|------|------|-------------------|------|------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1年 | 現代の国語 | 言語文化 | 歴史総合 | 英語コミュニケーションI | 論理・表現I | 数学I | 数学II | 数学A | 物理基礎 | 生物基礎 | 体育 | 保健 | 音楽I 美術I 書道I | 家庭基礎 | 情報I | 総合探究 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年 | 論理国語 | 古典探究 | ◎探究文学 地理総合 | ◎探究文学 日本史探究 世界史探究 | 公共 | ◎時事探究 | 英語コミュニケーションII | 論理・表現II | 数学II | 数学B | 数学C | 化学基礎 | 体育 | 保健 | 総合探究 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年 | 論理国語 | 古典探究 | ◎探究文学 日本史探究 世界史探究 | 政治・経済 | 英語コミュニケーションIII | 論理・表現III | 数学C | ◎探究数学α | ◎探究化学 | ◎探究生物 | 体育 | 総合探究 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年 | 論理国語 | 古典探究 | 地理総合 | 公共 | 英語コミュニケーションII | 論理・表現II | 数学II | 数学B | 数学C | 物理 生物 | 化学基礎 | 化学 | 体育 | 保健 | 総合探究 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年 | 論理国語 | 古典探究 | 地理探究 | 英語コミュニケーションIII | 論理・表現III | 数学III | 数学C | 物理 生物 | 化学 | 体育 | 総合探究 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

高等学校 GSコース(グローバル・サイエンス・コース)

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 |
|----|-------|------|---------------|-------------------------|---------------|----------------|---------------|----------|------|----------|-------|-------|-------------------|------|------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1年 | 現代の国語 | 言語文化 | 歴史総合 | 英語コミュニケーションI | 論理・表現I | 数学I | 数学II | 数学A | 物理基礎 | 生物基礎 | 体育 | 保健 | 音楽I 美術I 書道I | 家庭基礎 | 情報I | 総合探究 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年 | 論理国語 | 古典探究 | ◎探究文学 地理総合 | ◎探究文学 日本史探究 世界史探究 | 公共 | ◎時事探究 | 英語コミュニケーションII | 論理・表現II | 数学II | 数学B | 数学C | 化学基礎 | 体育 | 保健 | 総合探究 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年 | 論理国語 | 古典探究 | ◎探究文学 地理探究 | ◎探究文学 日本史探究 世界史探究 | 政治・経済 | 英語コミュニケーションIII | 論理・表現III | ◎現代英語 | 数学C | ◎探究数学β | ◎探究化学 | ◎探究生物 | 体育 | 総合探究 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年 | 論理国語 | 古典探究 | 地理総合 | 公共 | 英語コミュニケーションII | 論理・表現II | 数学II | 数学B | 数学C | 物理 生物 | 化学基礎 | 化学 | 体育 | 保健 | 総合探究 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年 | 論理国語 | 古典探究 | 地理探究 | 英語コミュニケーションIII | 論理・表現III | 数学III | 数学C | 物理 生物 | 化学 | 体育 | 総合探究 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

Daily Life at Sanbongi H.S.



Topic 3 学校生活

School Events at Sanbongi H.S.

※三本木高校・附属中学校は、令和8年度から3学期制となりました。

| 4 April | 5 May | 6 June | 7 July | 8 August | 9 September | 10 October | 11 November | 12 December | 1 January | 2 February | 3 March |
|----------------------------|-----------------|----------------|-------------|------------------|----------------|--------------------------------------|----------------|-------------|--------------------------------|-----------------|------------------------------------|
| 入学式 対面式 生徒総会 授業公開 | 定着テスト 学校安全教室 | 高校総体 1学期末考査 | 競技大会 三高祭 | 中学生の体験入学 夏期講習 | 体育祭 2学期中間考査 | 修学旅行(2年) 遠足(1・3年) 芸術教室 高総文祭 | 授業公開 2学期末考査 | | 大学入試 共通テスト スキー教室 生徒総会 | 学年末考査 ダンス発表会 | 卒業式 高等学校 入学者選抜 修了式 離任式 |



Topic 4

部 活 動



【運動部】 バスケットボール・バレーボール・硬式野球・卓球・ハンドボール・ソフトボール・テニス・ソフトテニス
バドミントン・陸上競技・弓道・柔道・剣道・空手道・なぎなた・サッカー

【文化部】 演劇・茶道・華道・ボランティア・写真・家庭科・書道・吹奏楽・美術・自然科学・放送・箏曲

【愛好会】 ダンス

令和7年度 主な活動結果

全国大会出場
ハンドボール部・弓道部

東北大会出場
ハンドボール部・弓道部
陸上競技部・なぎなた部・柔道部
空手道部・放送部

●ハンドボール部
高校総体 女子 優勝・男子 2位
選抜大会県2次予選会
男子 優勝・女子 2位

●陸上競技部
高校総体 女子棒高跳 優勝
新人戦 男子5000m競歩 1位
秋季大会 男子棒高跳 2位

●弓道部
高校総体 女子団体 優勝

●柔道部
高校総体 女子個人78kg級 3位
新人戦 女子個人無段の部 1位
全国高校柔道選手権東北地区大会
女子無段57kg超級 優勝

●ソフトテニス部
高校総体 女子団体 3位

●女子サッカー部
高校総体 女子 2位

●空手道部
高校総体 男子団体組手 3位
秋季大会 男子団体組手 2位
女子個人組手 2位

●なぎなた部
高校総体 団体 2位
青森県高等学校運動部活動 奨励賞

●美術部
高校総合文化祭 美術部門 最優秀賞

●自然科学部
日本学生科学賞青森県審査 最優秀賞

●放送部
東北高校放送コンテスト アナウンス部門

●書道部
大東文化大学主催全国書道展 会長賞

●家庭科部
オレンジページ×味の素ジュニア料理選手権
高校生団体部門 特別賞



ハンドボール部

部長 3年 前山 颯太郎 (附属中出身)

私は文武両道という校訓に惹かれて附属中学校に入学し、そして三本木高校に進学しました。高校ではハンドボール部に所属し、部長をしています。現在は高校総体優勝、そしてインターハイ出場を目指してチームで練習に取り組んでいます。

ハンドボール部は未経験から始める人もいますが、その中でも試合に出場し、活躍している人がいます。東北大会や全国大会でプレーする経験ができるチャンスがあります。私は、部活動とはそういった日常生活にはないような経験をして、学びを得られる機会だと思っています。先生やチームメイトと共に努力し高め合い、1つの目標を成し遂げる瞬間は何にも代えがたい感動があります。

部活動で得た経験は、勉強でも活かせると思います。体力や集中力は勉強においても重要な力です。そして、試合の様々な場面は精神力も鍛えてくれます。試験や受験の時には落ち着きや平常心で臨むことも大事な要素です。高校ではぜひ部活動にチャレンジしてみてください。

高校生活を充実したものにできるかどうか、そして文武両道をできるかどうかは時間の使い方が極めて重要です。勉強、部活動、休み、遊び、それぞれで悔いが残らないような選択をして、自分のしたいことができる三年間を過ごしてください。



Topic 5

進 路 実 績

東北大学、弘前大学医学部、大阪大学、早稲田大学など大学進学率9年連続8割超え!

令和7年度卒業生の大学合格一覧

| ■国立大学 | | | | | |
|---------|----|--------|---|---------|---|
| 北海道大学 | 1 | 山形大学 | 5 | 東京外国語大学 | 1 |
| 北海道教育大学 | 8 | 福島大学 | 2 | 東京学芸大学 | 1 |
| 室蘭工業大学 | 1 | 茨城大学 | 4 | 東京農工大学 | 1 |
| 弘前大学 | 15 | 宇都宮大学 | 4 | 新潟大学 | 2 |
| 岩手大学 | 6 | 群馬大学 | 2 | 山梨大学 | 1 |
| 宮城教育大学 | 2 | 埼玉大学 | 6 | 信州大学 | 3 |
| 東北大学 | 2 | 千葉大学 | 1 | 大阪大学 | 1 |
| 秋田大学 | 3 | 電気通信大学 | 1 | | |

| ■公立短大 | | | |
|-------------|---|--------------|---|
| 山形県米沢女子短期大学 | 3 | 岩手県立大宮古短期大学部 | 3 |
| 大月短期大学 | 1 | 会津大学短期大学部 | 2 |

| ■私立大学 | | | | | | |
|--------|----------|--------|--------|---------|--------|------|
| 早稲田大学 | 明治大学 | 中央大学 | 法政大学 | 日本大学 | 東洋大学 | 東海大学 |
| 亜細亜大学 | 国士舘大学 | 獨協大学 | 桜美林大学 | 工学院大学 | 芝浦工業大学 | |
| 順天堂大学 | 東京家政大学 | 東京農業大学 | 日本体育大学 | 麻布大学 | | |
| 神奈川大学 | 北里大学 | 同志社大学 | 立命館大学 | 関西外国語大学 | 近畿大学 | |
| 兵庫医科大学 | 東北医科薬科大学 | 東北学院大学 | 岩手医科大学 | 他 | | |

三高の進学力

三本木高校は東北大学、弘前大学医学部、早稲田大学などの難関大学に毎年合格者を出しています。高校から入学した生徒も優秀な成績を収めていますが、中高一貫校の附属中学校出身の生徒が、学業の上で全体を牽引する役割を果たしていることがあるのも事実です。附属中出身の生徒の積極的に学習に取り組む姿が、周囲の生徒にもよい影響を与えています。附属中出身の生徒と、高校から入学した生徒がお互いに切磋琢磨する姿勢が三本木高校の進学力を支えています。

「見えない学力」に支えられる「見える学力」

「学力」には、知識・技能など、テストで測れる「見える学力」と、協調性、自律心、実行力、統率力、創造性、探究心、共感性、道徳心、倫理観など、学力テストなどで測りづらい「見えない学力」があります。「見えない学力」の下の地に「見える学力」があり、それらを育む絶好の場所が三高です。中高一貫校としての三高は、「運動神経が発達し、集中力も養われ、その影響で学力も伸びる」とされる成長著しいゴールデンエイジである中学時代から、次のステージである高校が持続しています。同じ志を持った級友たちと育んだ「見えない学力」が、高校で大いに発揮され、「見える学力」となっていきます。三高では豊かな感性で多くの経験を積み、吸収し、確かな“学力”を築くことができます。

毎日の取り組みで学力を育む三高

大学入学選抜でも評価される“学力”には、「生きて働く知識・技能」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の“学力の三要素”があります。「規律ある進学校」を校是とする三高においては、授業へのしっかりとした取り組みを基盤として、部活動や生徒会活動などでの自主的積極的な活動と、学校行事への自立性をもった品格ある行動を通して、思考力・判断力・記述力・論述力・表現力・集中力・傾聴力・暗記力など、学力を構成するこれらの要素を堅実に育みます。

大学合格者状況 (過去5年間)

| 卒業年度 | | R 7 | R 6 | R 5 | R 4 | R 3 |
|---------|-----|------|------|------|------|------|
| 大学 | 国公立 | 104 | 92 | 109 | 84 | 123 |
| | 私立 | 188 | 201 | 181 | 263 | 218 |
| 短大 | 国公立 | 9 | 2 | 11 | 2 | 3 |
| | 私立 | 0 | 3 | 2 | 4 | 2 |
| 文科省管轄外 | | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 |
| 進学率 (%) | | 83.7 | 85.7 | 83.9 | 86.9 | 87.7 |

■公立大学

| | |
|------------|---|
| 釧路公立大学 | 1 |
| 公立はこだて未来大学 | 1 |
| 名寄市立大学 | 1 |
| 青森県立保健大学 | 8 |
| 青森公立大学 | 5 |
| 岩手県立大学 | 2 |
| 宮城大学 | 2 |
| 秋田県立大学 | 1 |
| 高崎経済大学 | 3 |
| 東京都立大学 | 1 |
| 横浜市立大学 | 3 |
| 都留文科大学 | 3 |



きめ細やかな指導



OB・OG講演会

平成28年度卒業生

繁在家 翔大 (野村證券 勤務)

高校での3年間はまさに「青春」でした。高め合える友人たちと勉学に励み、多彩な学校行事へは全校生徒が一体感を持って臨み、何事にも全力を尽くす校風が好きでした。

私が所属したハンドボール部では、生徒主体で練習内容や試合のメンバーを決めるボトムアップ型の運営に挑戦しました。上手くいかないことも多々ありましたが、その度にチーム全員で乗り越え、インターハイ出場という目標を叶えました。

私は高校生の頃から「選択肢を広く持つ」ことを大事にしています。自らの進める人生の幅が広がるからです。その為には、勉学に励みつつも、高校生活を賭けて熱中する何かを見つけることが必要です。三本木高校はそれを成し得る環境が整っています。素晴らしい仲間と、支えてくださる先生方に恵まれたことに今でも感謝しています。

現在は証券会社に勤め、主に法人のお客様へ資金管理や課題解決のご提案を行っています。最初から順調に仕事が進むことはほとんどありませんが、高校時代に培った、目標に向かって努力し続ける姿勢、周囲と協力して物事を成し遂げる力は、現在の職場でも大いに活かされています。

高校生活はあっという間ですが、その一つひとつの経験が将来へ繋がります。三本木高校で過ごす日々を大切に、自分らしく挑戦を続けてください。その積み重ねが、きっと皆さんの未来を切り拓く力になるはずですよ。





〒034-0085 青森県十和田市西五番町7番1号 TEL 0176-23-4181
<https://www.sanbongi-h.asn.ed.jp>

2026
 中学生の体験入学
 8 / 4
 Tue.

2026
 附属中学校説明会
 (児童・保護者対象)
 8 / 3
 Mon.

2026
 附属中学校説明会
 (保護者対象)
 9 / 15
 Tue.

三本木高校創立100周年
 附属中学校開校20周年

